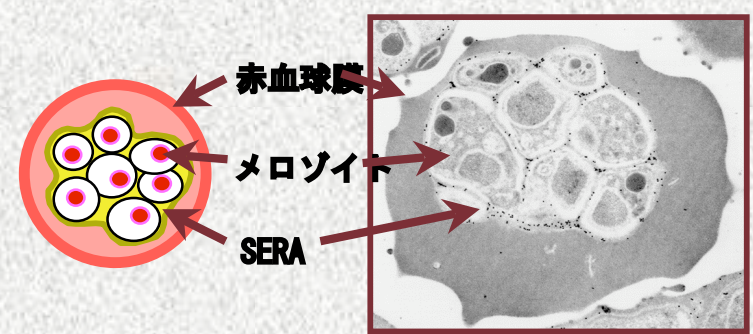
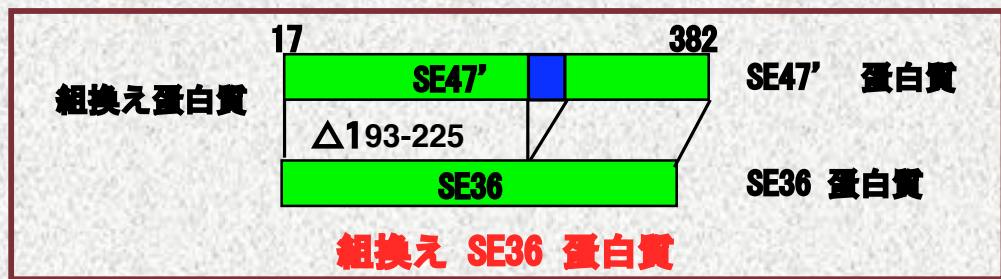


# SE36マラリアワクチンの臨床開発 堀井俊宏



熱帯熱マラリア SERAとSE36 蛋白質の構造  
 SERA蛋白質 (N-末端ドメインにセリン残基の繰り返し配列を持つ) は赤血球期の分裂前に多量に生産され、寄生胞に多量に蓄積される。SE36蛋白質はN-末端ドメインのSE47'蛋白質からセリン残基の繰り返し配列を除去したものである。



一本のバイアルには、一回のワクチン接種に用いる水酸化アルミニウム (1 mg) に吸着させたSE36蛋白質 (100 $\mu$ g) が、凍結乾燥した状態で封入されている。

## GMP生産したSE36マラリアワクチン治療製剤

- 本マラリアワクチンの臨床開発は
- ・ 大阪大学微生物病研究所・分子原虫学分野
  - ・ (財) 阪大微生物病研究会
  - ・ WHO-TDR (世界保健機関-熱帯病研究特別計画)
- 3者のコラボレーションによるものである。